

令和2年度第3回青森市中央卸売市場取引委員会 会議概要

- 1 開催日時：令和3年1月8日（金） 11：00～12：20
- 2 場 所：青森市卸町1-1 青森市中央卸売市場管理棟2階 大会議室
- 3 出席者：【青森市中央卸売市場取引委員会委員】8名（欠席委員2名）  
【事務局】6名

出席委員

青森公立大学教授	河野 秀孝
青森青果商業協同組合専務理事	木村 仁
青森市漁業協同組合代表理事組合長	澤田 繁悦
中水青森中央水産(株)代表取締役社長	塩谷 康之助
青森合同青果(株)代表取締役社長	篠崎 真孝
青森青果仲卸協同組合理事長	安田 誠
青森農業協同組合代表理事組合長	雪田 徹
青森魚類(株)代表取締役社長	若井 由治

(五十音順)

欠席委員

青森中央市場水産物仲卸協同組合理事長	鈴木 新一
米谷商店代表	米谷 晴藏

(五十音順)

事務局

青森市農林水産部中央卸売市場市場長	若佐谷 昭人
青森市農林水産部中央卸売市場管理課長	中村 敦
青森市農林水産部中央卸売市場管理課主幹	山口 光広
青森市農林水産部中央卸売市場管理課主幹	古田 正之
青森市農林水産部中央卸売市場管理課主査	中西 由美子
青森市農林水産部中央卸売市場管理課主事	北川 侑太郎

## 4 会議概要

### (1) 事務局説明

青森市中央卸売市場経営ビジョンの改訂について、資料1及び資料2に基づいて事務局から説明を行った。

### (2) 質疑応答

#### 【委員】

青森市ファシリティマネジメント推進基本方針において、市場は「その他」の公共建築物に分類されている。市有施設が597ある中で、市場はどのように位置づけられているのか。

#### 【事務局】

現時点で、597ある市有施設について明確な順位づけはされていない。

#### 【委員】

収支については、支出の内容が分からないため透明性に欠ける。

#### 【事務局】

支出については、財政当局と協議し、市議会でご議決いただいて予算執行しているが、場内関係者への説明が足りなかったと思われるため、説明する場を設けていきたい。

#### 【委員】

この施設をあと何年もたせるつもりなのか。食品衛生法などの法律が変わってきていることも踏まえ、維持管理をどのようにしていくのか方向性をはっきりさせて対策しなければいけない。前提条件をしっかりとすり合わせする必要がある。

#### 【事務局】

青森市ファシリティマネジメント推進基本方針に則って整備・統合している施設はあるが、当市場はそのステージに乗っていない状況にあるため、検討対象となるよう所管部局と協議している。

#### 【委員】

場内業者としては、規模を縮小することは考えていない。必要性和改

善を提案しないと予算はつかないと思うが、耐用年数が過ぎている施設・設備もあるのではないか。

**【事務局】**

耐用年数が過ぎているものもあり、財政当局と協議しながら進めている。

**【委員】**

耐用年数にかかわらず、メンテナンスがしっかりと行われていれば建物はもつし、不要な費用もかからない。限られた予算の中でどのように効果を上げていくか、絞らなくてはいけない。

場内業者が整備費用を負担する代わりに市が使用料を減免するなど、いろいろな手法を踏まえて資金計画を考えてもらいたい。

**【委員】**

市場の特徴を生かすためには、地域でどのような動向があるのか分析する必要がある。個々の市場の強みが分かれば、そこに集中投資すればよい。分析には卸売業者の協力が必要で、多くのデータを集めないとしっかりした分析はできない。

**【委員】**

H A C C Pについては、市場全体でどういう方向で動くのか検討すべき。H A C C Pについてよく分かっていない事業者も多く、簡単にいかないと思うので、専用の部会を作るべきではないか。

**【事務局】**

検討したうえで適切に対応する。

**【委員】**

取扱高も落ち、人口も減少しているが、人口が減ったから将来性がないという短絡的な結論は出さずに、青森市の市場は全体的な力を持っているということを認識していただきたい。施設の老朽化に対しては、長寿命化を前提とするのではなく、施設の更新も選択肢の1つとして残し、ダイナミックな議論を行えるような場を設けてもらいたい。

(3) 結果

議事 青森市中央卸売市場経営ビジョンの改訂について、原案どおり承認されました。